

高崎のまちなかをアートで彩る
『アートプロジェクト高崎2020』(10/23~11/24)

「アートプロジェクト高崎2020～進捗するアート」は、高崎アートインキュベーション推進会議（会長：石田安利）が主催する現代アートのイベントです。高崎市や群馬県にゆかりがあり、国内外で活躍する作家が集結し、およそ1か月間、高崎のまちなかを舞台に大小さまざまな作品を展示します。

本イベントは、平成27年から始まり今年で6回目。秋の高崎を彩るアートイベントとして認知度を高めてまいりました。まちなかをアートで盛り上げていきたいという方針に賛同いただき、高崎のために作品を発表する作家が年々増えています。

参加する作家は24人で、展示場所は西口ペデストリアンデッキや慈光通りなど19か所。壁画アート、絵画、彫刻、インスタレーション、動画のほか、先鋭的なアートなど現在アートのさまざまな表現を幅広く紹介します。

本イベントではこれまでも、慈光通りで壁画を2作品制作いたしました。今年は本イベントとして3作目となる吉野もも氏による丸善第一ビル壁画（高さ15m×幅15.5m）や、旭町ビルのガラス面に貼る井上純氏の巨大アート（縦10.5m×横8.5m）、西口ペデストリアンデッキの天井を20mにわたって飾る渡辺香奈氏（画家・高崎市出身）の絵画などが今年初めての取り組み。高崎OPA2階の大型ビジョンを使った動画作品の公開も行う予定です。（詳細は別紙のとおり）

アートインキュベーション推進会議は、音楽・芸術など高崎のあらゆる文化をインキュベーション（創出支援）するため、平成19年に設立しました。市民や町内会などの代表が委員を務め、アートイベントなどを企画しています。

○問い合わせ先 株式会社ラジオ高崎
専務執行役員 関口 高史
TEL:027-322-9195